

【別紙1】

岩手県立野外活動センター（愛称：ひろたハマラインパーク）の概要

第1 施設概要

1 所在地

岩手県陸前高田市広田町字大久保 124-1

2 全施設供用開始

令和3年7月1日

3 受付時間

午前8時30分から午後5時15分まで

※ 体育施設の使用時間 午前6時から午後9時まで

4 休所日

毎週月曜日及び年末年始（12月28日～1月4日） ※臨時開所する場合あり

5 敷地面積

96,327.96 m²

6 主な施設

主な施設の種類の	構造・規模	建物棟数	建築時期	施設の概要
管理・宿泊棟	鉄筋コンクリート造 地上2階建 延べ3,896.39 m ²	1棟	R3	事務室、食堂（200席）、研修室（2室：定員各100人）、創作室（定員120人）、宿泊室（42室：定員各4人）、和室（3室：定員10人）、和洋室（1室：定員2人）
体育館	木造 地上1階建 延べ1,206.80 m ²	1棟	R3	バレーボール2面、バドミントン3面、バスケットボール2面
車庫棟	木造 地上1階建 延べ63.00 m ²	1棟	R3	
運動広場	400mトラック ・直線9レーン ・トラック8レーン		R3	軟式野球、サッカー、ラグビー実施可能
トイレ・倉庫棟	木造 地上1階建 延べ65.63 m ²	1棟	R3	
キャンプ場			R3	・テントサイト×2 ・ファイヤーサークル×2
トイレ・シャワー棟	木造 地上1階建 延べ248.43 m ²	2棟	R3	
テニスコート	砂入り人工芝8面		R3	夜間照明付き、硬式・軟式に対応
トイレ・倉庫棟	木造 地上1階建 延べ65.63 m ²	1棟	R3	
遊具広場			R3	
駐車場	224台		R3	普通車209台、大型車10台、身障者用5台

【施設愛称】

ひろたハマラインパーク

【シンボルマーク】 【キャラクター】



はまピー

（いずれも公募により決定）

7 防災

管理・宿泊棟及び体育館は、津波浸水区域外に設置されております。

なお、体育館は、陸前高田市の指定緊急避難場所及び指定避難所となっており、施設敷地内に備蓄倉庫が設置されています。

また、施設敷地内の避難動線を明確にし津波避難サインを掲示しているほか、屋外の避難路は駆け上げられるように法面の緩勾配化を行っています。

管理宿泊棟：標高 25.0m、キャンプ場A：標高 18.5m、キャンプ場B：標高 15.5m、
運動広場：標高 9.3m、テニスコート：標高 10.2m

8 利用状況

年度	開所 日数	延べ利用者数（人）						団体利用 件数
		教育研 修・指導 者養成等	学校	地域 団体	企業体	その他		
R 3	282 日	8,629	706	5,125	1,943	18	837	272 件
R 4	337 日	26,384	1,422	17,103	3,637	3,253	969	507 件
R 5	328 日	25,888	1,681	13,279	8,841	1,425	662	575 件

※ 令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため主催事業の一部を中止しました。

9 使用料

「野外活動センター条例」に使用料を規定（別紙2 p.3参照）

第2 管理運営

1 施設管理全般について

(1) 建物維持管理について

職員による施設巡視・実務作業と、専門業者への業務委託を組み合わせることで施設を管理しています。

なお、食堂等の一部を除いてエアコンが未設置のため、館内各所への扇風機やサーキュレーターの設置、食堂の一部をクールダウンエリアとして開放するなどの暑さ対策を講じています。

(2) 施設の使用許可、使用料金の徴収について

以下の期間内に予約を受け付け、使用許可申請書を提出いただき、その後、使用許可を行います（別紙2 p.2参照）。

使用料金は、使用当日に窓口で現金で受領しています。

[予約可能な期間]

宿泊使用		6ヶ月前～1ヶ月前	
日帰り使用		3ヶ月前～1ヶ月前	
体育施設の 日帰り使用	使用 時間	9:00～17:00	当日申請可
		6:00～9:00	3ヶ月前～1ヶ月前
		17:00～21:00	
出前講座		3ヶ月前～1ヶ月前	

(3) その他

職員公舎の維持管理業務も管理業務に含みます。

所在地：陸前高田市高田町字鳴石 51-185

概要：敷地面積 800 m²、鉄筋コンクリート造、地上2階建て（4世帯）、
平成6年3月建築、延べ面積 271.30 m²

2 管理運営手法について

(1) 職員配置状況（令和6年度）

	勤務日数	勤務時間（週）
正規職員（所長含む）	243日×4人＝972日	38時間45分
会計年度任用職員（事務職員）	243日×4人＝972日	30時間
会計年度任用職員（運転技士）	243日×1人＝243日	30時間

※ 勤務日数に年次有給休暇や夏季休暇等も含まれます。

※ 中型バス1台（乗車定員44人）を所有しており、利用団体の送迎業務があります。

(2) 施設経費（令和6年度）

ア 収入・支出の内訳

	費目	令和6年度予算	備考	
収入	使用料（施設利用）	4,672,000円		
	使用料（財産使用許可）	80,000円	飲料自動販売機	
	使用料（私用光熱水費）	62,000円	飲料自動販売機電気代	
	諸収入	74,000円	社会保険料（会計年度任用職員・雇用保険のみ）	
	収入計	4,888,000円		
支出	人件費	15,290,000円	会計年度任用職員	
	光熱水費	18,881,000円		
	委託料	施設管理	33,603,000円	
		研修業務	26,243,000円	
	その他支出	10,526,000円		
	支出計	104,543,000円		

※ 人件費に正規職員の人件費は含まれません。

イ 委託業務等の内容

- ・ 食堂業務
- ・ 清掃及び施設設備維持管理業務
- ・ 警備業務
- ・ 昇降機保守点検業務
- ・ し尿浄化槽維持管理業務
- ・ 受変電設備、発電設備維持管理業務
- ・ 防災設備点検
- ・ 建物環境衛生管理業務
- ・ 植栽等管理業務
- ・ 除草業務
- ・ 空調設備保守点検業務
- ・ ろ過機保守点検・清掃業務
- ・ 廃棄物収集処分業務
- ・ 油地下タンク点検業務
- ・ 厨房器具類点検保守業務
- ・ 自動ドア点検業務
- ・ グリストラップ清掃業務
- ・ 厨房用 SRMO 型送風機点検業務

ウ 館内の通信回線等

電話（1回線）、FAX（1回線）、Wi-Fi（1回線）、火災通報専用電話（1回線）

エ 賃借の内容

寝具賃貸借、NHK受信料

(3) 防災対策

- ・ 防火管理者の設置
- ・ 防災訓練 年2回実施
- ・ 乙種第4類危険物取扱者資格必須（1名以上）

(4) 情報発信

施設の利用方法や主催事業の開催情報等はホームページを設け、情報発信しています。併せて、SNS（Facebook、instagram、LINE）による情報発信も行っています。

第3 研修業務について

野外活動センターは、各種の野外活動やスポーツ等の体験活動を通じて青少年の健全育成に寄与することを目的とした研修施設であり、社会教育施設における復興・防災教育の充実を推進するため、近隣施設と連携した復興・防災教育に関する研修プログラム等の提供も行っています。

社会教育施設として行う教育活動等（研修プログラム提供、主催事業の実施）については、研修業務委託により実施しています。

1 研修プログラムの提供

学校単位等の団体利用者に対し、地域の特性を踏まえた野外活動、スポーツ活動、創作活動等の研修プログラムの提供及び研修活動への指導助言をしています。（※別紙2 令和6年度要覧 p. 4～5参照）

2 主催事業

海洋性野外活動のほか、各種スポーツ事業やファミリー対象事業、復興防災事業、ボランティア養成事業等を実施しています。（※別紙2 令和6年度要覧 p. 6参照）

3 職員体制（令和6年度）

指導員	6人	県職員派遣（社会教育主事有資格者等）
	1人	委託事業
事務職員	1人	委託事業